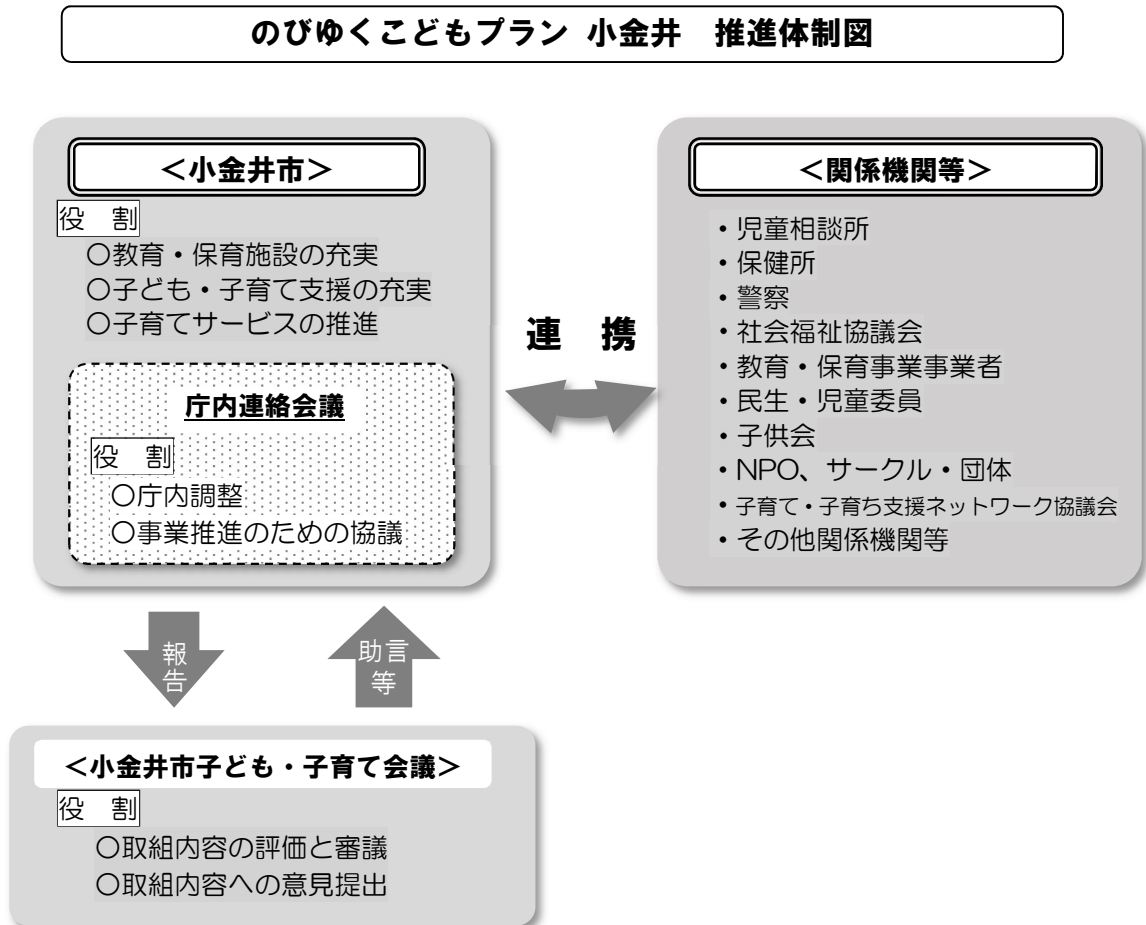


第5章

計画の推進体制

1 計画の推進体制

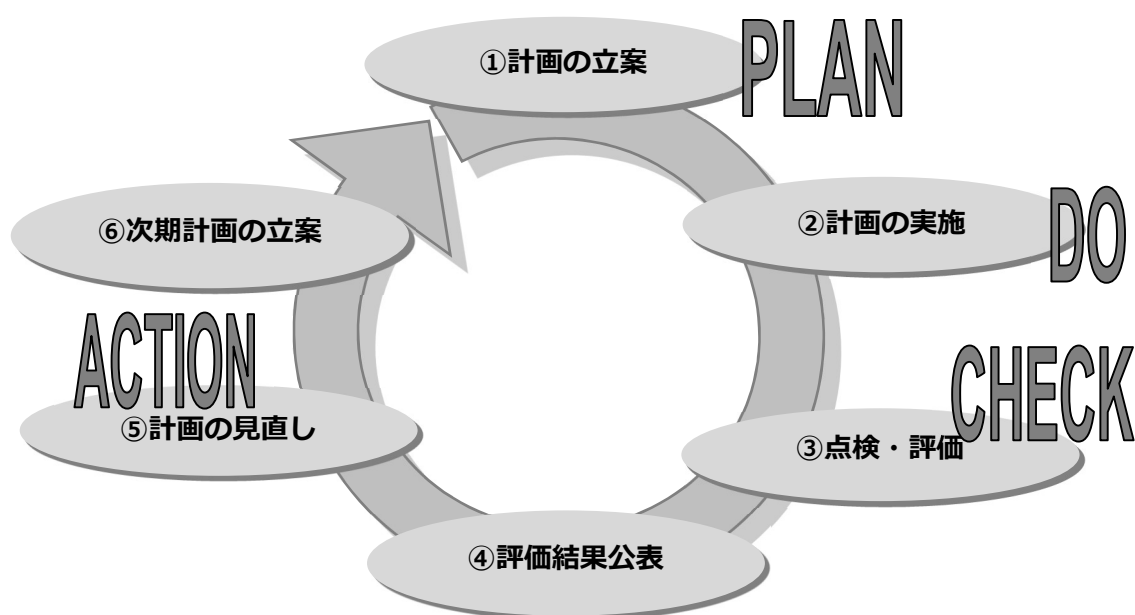
小金井市は、子ども・子育て支援施策を総合的かつ計画的に推進するため、関係機関等との連携を図りつつ、全庁をあげて子ども・子育て支援に取り組みます。



2 計画の達成状況の点検・評価

PDCA サイクル※に基づき、事業の取組と成果について点検・評価し、結果に基づく公表及び施策の改善等につなげていきます。

計画に基づく施策を総合的・計画的に推進し、実効性を確保するため、各事業について毎年の進捗状況を所管課で点検するとともに、子ども・子育て会議において第3章掲載事業及び第4章の重点事業を中心に協議し、事業の見直しを含め、計画の着実な推進を図ります。また、計画期間終期には、計画全体及び基本目標について、成果指標に基づく点検・評価を行います。



- 「のびゆくこどもプラン 小金井」は、子ども・子育て会議の知見を活用し、毎年度点検・評価・公表を行います。
- 計画期間中においても、計画と実績との乖離が大きいなど計画の見直しの必要がある場合は、計画期間の中間年を目安として計画の見直しを行います。
- 計画期間終期には、ニーズ調査結果等を活用し、成果指標に基づく点検・評価を行います。
- ホームページなどを活用し、本計画に基づく取組や事業の進捗状況を広く公表していくことで、市民への浸透を図ります。また、機会を捉えて市民意見を把握し、利用者目線を生かした施策・事業の推進を図ります。

※ 計画 (P: Plan) - 実施 (D: Do) - 評価 (C: Check) - 改善 (A: Action) の4段階を繰り返すことで、計画の進行管理を適切に行い、事業成果を継続的に改善していく仕組み

3 成果指標

本計画においては、市民に沿った成果を把握するため、計画全体及び基本目標ごとに成果指標を設定し、計画の達成状況の点検・評価に活用します。

項目	成果指標	現状値	目標値
計画全体	市の子育て環境や支援に満足している人の割合	未就学保護者 29.7% 小学生保護者 34.9% (H30 年度調査)	未就学保護者 50%以上 小学生保護者 50%以上 (R5 年度調査)
	自分のことが好きだと思う子どもの割合	—	70%以上 (R5 年度調査)
基本目標1 子どもの安心・安全を守ります	いじめなどの不安や悩みを相談できる人や場所がある子どもの割合	—	90%以上 (R5 年度調査)
	子どもの権利が守られていると思う人の割合	—	保護者 65%以上 子ども 65%以上 (R5 年度調査)
基本目標2 子どものゆたかな体験と仲間づくりを支えます	子どもが自然、社会、文化などのさまざまな体験をしやすいと思う人の割合	—	保護者 65%以上 子ども 65%以上 (R5 年度調査)
	ほっとする居場所がある子どもの割合	中高生 78.7% (H30 年度調査)	中高生 90%以上 (R5 年度調査)
基本目標3 子どもを生き育てる家庭を支援します	子育て・教育にかかる費用負担に不安のある人の割合	未就学保護者 25.7% 小学生保護者 30.9% 中高生保護者 43.1% (H30 年度調査)	未就学保護者 20%以下 小学生保護者 25%以下 中高生保護者 40%以下 (R5 年度調査)
	妊娠、出産、子育ての不安や悩みを相談できる人や場所がある人の割合	—	保護者 98%以上 (R5 年度調査)
基本目標4 子育て、子育てに困難を抱える家庭を支援します	今後の生活に不安のあるひとり親家庭の割合	—	80%以下 (R5 年度調査)
	特別な配慮が必要な子ども（障がい児等）のいる家庭にとって暮らしやすいとまちであると思う割合	—	60%以上 (R5 年度調査)
基本目標5 地域の子育て環境を整えます	子どもが安心して学べる環境が整備されていると思う人の割合	—	保護者 80%以上 子ども 80%以上 (R5 年度調査)
	子どもがのびのびと遊べる環境が整備されていると思う人の割合	—	保護者 60%以上 子ども 60%以上 (R5 年度調査)
基本目標6 地域の子育て環境を整えます	地域での子育て支援活動が充実していると思う人の割合	—	保護者 60%以上 (R5 年度調査)
	子連れで外出しやすいと思う人の割合	—	未就学保護者 60%以上 小学生保護者 80%以上 (R5 年度調査)